

令和6年度 第2回 佐久市少年センター運営協議会 会議録(要約)

令和7年3月14日(金)

午後1時30分から午後3時

市役所南棟 大会議室

委員：出席者 11名

欠席者 7名

事務局：8名

傍聴者：0名

進行：青少年係長

1 開 会

2 あいさつ 工藤 隆雄 社会部長

木内 和昭 会長

3 会議事項

(1) 令和6年度事業報告について 事務局説明

【 質疑・意見等 】

委員 補導委員の活動のなかで、学校訪問をし、情報交換をしたとしているが、どのような内容なのか。

事務局 学校訪問は専門補導委員と地域から選出された補導委員で訪問しています。

学校からは、校長先生、教頭先生、生徒指導の先生に対応をしていただいています。内容としては、街頭補導をしていて心配だと感じたこと、良い行動が

あったことなどをお話しております。

学校からは、個人情報に配慮したうえで、学校で気になる事、不登校やいじめについて話していただくこともあります。

委員 民生児童委員として、不登校や家庭内困窮について学校へ情報を伝えたいという思いもあるが、なかなかできない状況もある。補導委員の活動を参考にして活動をしていきたい。

委員 活動報告の中に、参加人数が書かれているが、事務局の希望どおりだったのか。

事務局 事業の中には、もう少し参加して欲しかった事業もあります。例えば、「佐久市青少年健全育成市民集会」などは、こちらのPR不足もあったかと思いますが、中学生の意見発表も講演会もとても良かったので、多くの皆さんに参加いただき良かったです。ジュニアリーダー研修やイングリッシュキャンプは概ね埋まったところですが、今後も事業を続けていくなかで、今後も参加いただきたいので、PRや周知の仕方を工夫していきたい。

委員 育成会の事業の件数は例年どおりですか。

事務局 昨年度の実績と比較してみますと、スポーツ活動と郷土伝統、文化継承行事や奉仕活動の件数が減っています。原因といたしましては、コロナ禍を経て、地域の行事などが減っているのではないかと推測されます。

また、スポーツ活動については、夏休みの「ラジオ体操」の回数が減っているといったこともあります。

委員 参加人数の話がありましたが、確かに市民集会はさみしかったと思います。

内容はよかったですので、集客が課題だと思います。チラシは各家庭に配っているのでしょうか。

事務局 市内の中学校、小学校、保育園、幼稚園の各家庭に配布しています。

委員 それだけ配っていても少ないというのは課題だとも思います。

委員 「子どもまつり」は盛況でしたが、それゆえ、スタッフが昼食をとれなかったとの話がありました。

事務局 当日は、ジュニアリーダー研修生、育成推進協議会、補導委員協議会の理事の皆さんにスタッフとして参加いただきました。想定以上にご来場いただきましたことから、そのような状況になってしまいました。スタッフの運営体制につきましても、来年度の課題としたいと思います。

委員 今年度新しく作ったブースなどはありますか。

事務局 「フェルトクラフト」という布を使った小さい子どもでも簡単に作れるキーホルダーを作るブースをつくりました。

委員 やはり、自分で作れるブースは人気がありましたね。子どもたちは「モノ作り」が好きなんだと思いました。

委員 新しいブースができるのはいいですね。人気のあるブース続けていただくのもいいですが、新しいブースを作ると毎年きてくださる皆さんにはいいと思います。他の事業もそうだと思います。

委員 いろいろな話を伺いまして、健全育成と補導の両面から様々な取り組みをしていて素晴らしいと思います。公民館報の「少年センター」だよりに掲載していただいています。資料の6ページにはいうジュニアリーダー研修で、子ども会などでのリーダーを目指して研修していて、実際には子どもまつりではリーダーが来場者にモノづくりの指導をしたという短い記事の中にしっかりと書かれていてありがたいと思いました。このよ

うに、子どものよい芽をのばし、健全に育成していく点に力をいれるところがすばらしいと感じました。

一方で、補導の活動も欠かせないものだと思うのですが、8ページの巡回中の注意点・問題事項についてお聞きしたい。

補導というと「捕まってしまう」といったイメージを持ちやすいが、そうではなくて、「最近どう?」といった声掛けや、「どんなことを頑張ってる?」といった声掛けを行っていることをアピールしていった方がよいと思う。 といった意味でお伺いしたい。

事務局 一つのケースとして、高校生が商店街で不適切な行為をしたことについて、巡回中に地域の方からの相談がありまして、警察に連絡して、巡回していただき、補導にいったといったことがありました。

委員 「子どもまつり」について、今年度は昨年度より多くの方が来場しているが、この状況を維持するために、来年度はどのようにPRを考えているか伺いたい。

事務局 これまでも、チラシ、市ホームページ、広報などで周知してきた。今後も検討していきたい。

この他、これまでは、7月に開催していましたが、9月に変更したことも参加者が増えた理由の一つではないかと思えます。

委員 多くの方が来場されたので、会場が狭かったのではないか。

事務局 会場については、生涯学習センターでの開催も視野にいれながら検討していきたい。

委員 創錬センターは全館貸し切りで、芝生の部分を使えば充分できると思う。

委員 「信州あいさつ運動」は大人からの声掛けができていない場面もあるので、市の広報誌などで呼びかけてもいいと思う。

事務局 市広報広聴課への依頼も検討したいと思えます。

委員 補導活動の「補導」という言葉に違和感がある。活動の内容は見守りが中心であることから、そういった言葉を前面に出していった方がよいのではないか。

事業でも、「青少年健全育成市民集会」といった名前に違和感がある。行きづらい感じもあるのではないか。講演会は各学校でもやっているのだから、内容の検討も必要ではないかと思う。

事務局 たとえば、「青少年健全育成市民集会」に皆が行きやすいサブタイトルを付けるなど工夫をしていきたいと思う。

(2) その他

委員 性教育についての取り組みをするのはどうかと思います。性教育というと保健体育のイメージが高いと思いますが、お互いを認めて自分を大切にするという意味でやっていただければと思います。低年齢の自殺者も増えていることから、小学校低学年からそういったことに触れると自分を大切にするという話を聞いたこともありますので、そういった取り組みも考えていただきたいと思います。

事務局 大切なことだと思うので、今後検討していきたいと思います。

他市では学生が中学生、高校生に対して、性についての出前講座を行っているとの話も聞いているので、そういった取り組みも参考にしたいと思います。

4 意見交換

5 閉 会 滝澤 良淳 副会長

令和6年度

第2回 佐久市少年センター運営協議会 次第

日 時 令和7年3月14日(金)
午後1時30分～3時
会 場 市役所南棟 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和6年度 事業報告について

(2) その他

4 意見交換

5 閉 会

令和6年度 第2回佐久市少年センター運営協議会 資料

資料ページ

令和6年度 青少年健全育成事業報告

1~7

令和6年度 青少年補導活動事業報告

8~10

令和6年度 青少年健全育成事業報告

明るい家庭づくり

1 佐久市青少年健全育成市民集会

目的：未来を担う青少年が心豊かにたくましく成長することを願い、市民総ぐるみで青少年の健全育成について考える集会。

日時：令和6年11月24日（日）午後1時～午後4時

場所：佐久平交流センター 参加者213人

・講演会

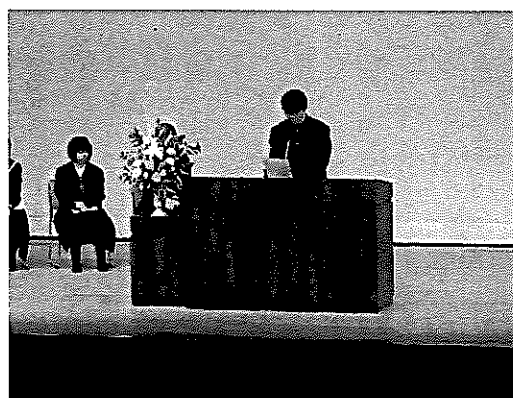
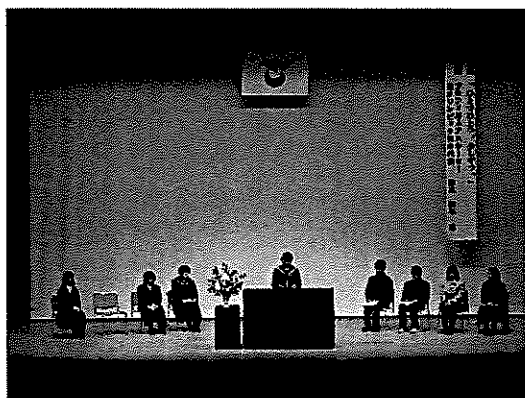
講師：プロフィギアスケーター/元オリンピック日本代表 鈴木 明子氏

演題：「ひとつひとつ。少しずつ」



・中学生意見発表：市内中学生8名

浅間中学校	(3学年)	河西 わかな さん	「オーバートレーニング問題」
野沢中学校	(2学年)	市川 稀姫 さん	「私ってヤングケアラー？」
中込中学校	(3学年)	佐々木 那奈 さん	「相手に気付く」
東 中学校	(2学年)	中澤 耀 さん	「My Mongolia Training」
白田中学校	(3学年)	大塚 光織 さん	「戦争が起こる原因を考えることで」
浅科中学校	(3学年)	市川 翔太 さん	「明日も生きる中学生の私とあなたへ」
望月中学校	(3学年)	柳澤 雄飛 さん	「少子高齢化に思うこと」
佐久長聖中学校	(3学年)	山浦 カリール さん	「未来のために。」



- ・特別企画：長野県警察 薬物乱用防止啓発パネルの展示コーナー
Saku Kids メディア Safety による啓発コーナー
ジュニアリーダー研修生による模擬店（リンゴレザーの販売）



2 毎月第3日曜日「家庭の日」啓発活動

親子の絆やふれあいを深め、温もりある家庭づくりを推進するため、公民館報の「少年センターだより」及び情報誌「佐久っ子だより」等の中での普及啓発に努めた。

- ・佐久っ子だより（春・夏・秋・冬号）



心豊かなたくましい青少年づくり

1 佐久市ジュニアリーダー研修

目的：子どもたちの生活体験・自然体験や、社会体験の不足が指摘されているため、多彩な体験ができる機会を提供し、「自分で考え行動する力」を持った人間性豊かな子どもの育成を目指す。また、市内小学校からの参加者等との交流により、広範囲な友達づくりと子ども会等のリーダーとしての技能と態度を身につける。

実施期間：令和6年7月20日（土）～令和7年1月25日（土）計12回開催

会場：佐久市市民創錬センターほか

研修生：市内在住の小学5・6年生 26名

※学生ボランティアスタッフ（中学生・高校生・大学生）14名

研修内容

回	月日（曜日）	内 容
1	7月20日（土）	・オリエンテーション ・わはは研修
2	8月3日（土）	・未来の職業体験（ドローン学習、農業体験）
3	8月24日（土）	・子どもまつり準備
4	9月8日（日）	・子どもまつりの運営（ブースでの運営）
5	9月21日（土）	・デイキャンプ準備
6	10月5日（土）	・デイキャンプ（野外炊さん活動、自然観察）
7	10月20日（日）	・異年齢&国際交流体験（エストニア研修生との交流、大学生との交流）
8	11月9日（土）	・身近に感じるSDGs体験（りんごレザー作り）
9	11月24日（日）	・販売体験（佐久市青少年健全育成市民集会にてりんごレザーの販売）
10	12月21日（土）	・私たちが考える最後の研修準備①
11	1月11日（土）	・私たちが考える最後の研修準備②
12	1月25日（土）	・私たちが考える最後の研修会

2 銀河連邦子ども留学交流事業

目的：銀河連邦共和国の代表児童が一堂に会し、教育文化交流・体験交流を通して共和国の子どもたちが手をつなぎ、友情の輪を広げると共に各共和国への理解を深めることを目的とする。

場 所：サガミハラ共和国（神奈川県相模原市）

参加者：市内在住の小学5年生 4名

開催日：令和6年8月6日（火）～8月8日（木）

3 English Camp in SAKU

目的：自然の中での活動を通して、英語を身近に感じ、英語に親しむきっかけづくりを目的とする。

場所：長野県望月少年自然の家ほか

参加者：市内在住の小学5・6年生 27名

※ボランティアスタッフ（高校生・大学生・社会人）延18名

実施日：1). 事前研修：令和6年7月13日(土)、7月27日(土) 計2回

2). 開催日：令和6年7月29日(月)～7月31日(水) 2泊3日

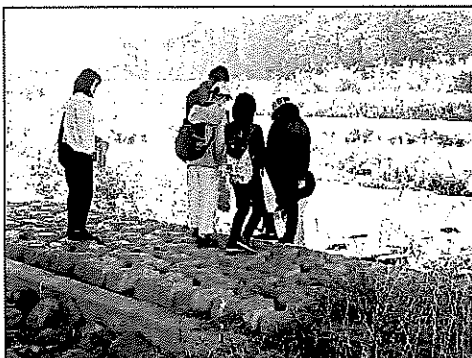
研修内容		実施日	実施内容
事前研修	第1回	7月13日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・事故防止安全対策研修 ・ALT・外国人講師との交流
	第2回	7月27日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動研修 ・イングリッシュ研修 ・保護者を含めた説明会
当日	1日目	7月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングセレモニー ・イングリッシュゲーム ・カヌー・自然観察
	2日目	7月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーゲーム ・英語でランチ作り① ・木工工作 ・ALT・外国人講師との交流
	3日目	7月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でランチ作り② ・クロージングセレモニー

健全な社会環境づくり

1 環境浄化活動

育成推進協議会理事・補導委員協議会理事・ジュニアリーダー研修生並びに学生ボランティアスタッフによるゴミ拾い等の清掃活動。

実施日：令和6年10月12日(土)



ゴミ拾いをしているジュニアリーダー研修生たち



集まったゴミ

2 青少年の社会参加活動の促進

(1) 佐久市子どもまつり

目 的：ものづくりを通して、親子の絆を深めるとともに、指導者と子ども達との世代間交流を図る。

日 時：令和6年9月8日（日）午前10時～午後2時

会 場：佐久市市民創錬センター 全館

概 要：ものづくりを通して、親子の絆を深めるとともに、指導者と子ども達との世代間交流を図る。11のブースを設置し、おもちゃ作り等を実施した。

育成推進協議会理事・補導委員協議会理事のほか、ジュニアリーダー研修生及び学生ボランティアスタッフも運営に携わった。

参加者：758名（子ども347名、大人411名）



バルーンアート



みわくのスライム



フェルトクラフト



ペーパークラフト

(2) 「信州あいさつ運動」(6P)

目 的：家庭や地域手でお互いにあいさつをすることで、みんながつながり地域を元気にして、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する。

実施内容：4・7・11・2月に、「信州あいさつ運動」を周知する啓発用ポケットティッシュを、市内公共施設等の窓口に設置し、配布した。また、毎月11日は「信州あいさつの日」とされているため、公民館報掲載の「少年センターだより」や情報誌「佐久っ子だより」等の中で普及啓発に努めた。

2023年 7月~9月 夏の号

佐久市少年センター情報誌

佐久っ子だより



気保育員 ひまわり日組 (年長) のみなさんの作品
「夏といえば」

夏は! 遊ぶ! 学ぶ!
体験しよう!

Let's GO
佐久っ子

参加無料

子どもまつり 開催のお知らせ

佐久市 子どもまつり~親子で体験ものづくり~

日時:令和6年9月8日(日)
時間:AM9:50~PM2:00
場所:佐久市市民創造センター

佐久市子どもまつりを開催します。
今年も親子で楽しめるイベントを開催します。
体験ものづくりや、お楽しみ会など、親子で楽しめるイベントを盛り込みます。
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
(お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。)

「お楽しみ会」
「体験ものづくり」
「お楽しみ会」
「体験ものづくり」

親子で楽しめるイベントを開催します。
お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。
(お申し込みは、お申し込みフォームからお願いします。)


発行 佐久市少年センター
〒385-8501 佐久市中央 2025 番地 佐久市市民創造センター
佐久市市民創造センター 社会福祉部 生活学習課 青少年係
電話 025-671-6571 FAX 025-671-6572

※ お申し込みの受付時間及び申込受付終了時刻は、お申し込みフォームをご覧ください。
※ 申込受付終了時刻以降は、お申し込みできません。
※ この冊子の一部は、お申し込みを兼ねて発行します。

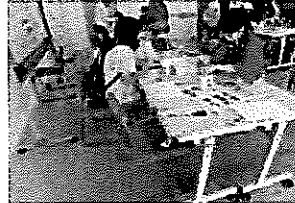
市公民館報さくし1月号掲載「少年センターだより」

地域や学校、子ども会等のリーダーを目指して!

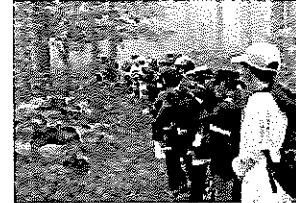
「佐久市ジュニアリーダー研修」は、市内小学5・6年生を対象とし、多彩な体験機会を通じて、人間性豊かな子どもの育成と、地域の子ども会等のリーダーになることを目的とした研修事業です。今年度は全12回の研修を計画し、実施しています。研修生達は、オリエンテーションでこれから一緒に研修をしていく仲間との緊張をほぐし、「佐久市子どもまつり」の運営や野外活動での自然体験など、様々な体験で得たもの・感じたものを通して、地域や学校、子ども会等におけるリーダーを目指します。



オリエンテーションでは、ゲームをして打ち解けあいました。



子どもまつりでリーダーが来場者にもものづくりの指導をしました。



ダイキャンプでは、ハイキングをして山の自然について学びました。

少年センターだより

伸びよう 伸ばそう
青少年

1月11日は「信州あいさつの日」・1月19日は「家庭の日」です。 青少年に関するご相談は少年センターへ
TEL62-0671 (市役所南棟3階)

3 佐久市少年センター育成推進員の活動

(1) 育成推進員の活動

地域の特性を活かした青少年健全育成事業を担い、青少年健全育成会や地区子ども会とともに文化活動、スポーツ活動、郷土の伝承文化を継承する活動、奉仕活動やレクリエーション活動等の体験活動を推進した。

実施日	曜日	内 容	実施場所
4月25日	木	第1回 理事会 (令和5年度事業報告・決算報告および 令和6年度事業計画・予算案について)	南棟3階大会議室
5月25日	土	佐久市少年センター育成推進協議会 総会 (令和5年度事業報告・決算報告および 令和6年度事業計画・予算案について)	市民創錬センター 大会議室
7月1日	月	地区青少年健全育成事業計画書及び予算書提出 育成推進協議会 地域体験活動補助金申請	各育成会より申請 受付
7月17日	水	第2回 理事会 (育成推進協議会地区交付金、地域体験活動補助金の 承認について)	南棟3階大会議室
9月13日	金	育成推進協議会地区交付金交付 (26地区)	
3月18日	火	第3回 理事会 (令和6年度事業報告および令和7年度事業計画案に ついて)	南棟3階大会議室

(2) 各地区での青少年健全育成事業 (令和7年3月12日現在)

市内地区育成会、支部PTA、育成推進員による青少年健全育成活動

(「令和6年度地区青少年健全育成事業実績報告書」に基づき集計)

- ・文化的活動・・・・・・・・・・ 622件
(支部児童会、講演会、交通安全教室、書道教室、文化祭等)
- ・レクリエーション・・・・・・・・ 146件
(お楽しみ会、歓送迎会、親子レクリエーション等)
- ・スポーツ活動・・・・・・・・・・ 613件
(球技大会、球技教室、地区運動会、ラジオ体操等)
- ・郷土伝統・文化継承行事・・・・ 165件
(祇園祭、どんど焼き、獅子舞、道祖神、しめ縄、郷土芸能等)
- ・奉仕活動・・・・・・・・・・・・・ 362件
(美化清掃活動、敬老会参加、資源回収、防犯活動、花壇づくり等)

令和6年度 青少年補導活動事業報告

街頭補導活動

1 街頭補導実施状況及び補導内容

- (1) 街頭補導実施回数 (4月～1月) 158回
 (2) 従事補導委員数 (4月～1月) 延べ679人
 (3) 補導した少年数 (4月～1月) 2人

	小学生	中学生	高校生	有職者 無職者	合計	前年度
怠学						
飲酒						
喫煙						
不良交遊						
盛り場徘徊						
不健全娯楽						
夜遊び						
その他			2		2	5
合計			2		2	5

(4) 補導活動時の「声かけ」人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
283	248	277	223	319	244	352	231	254	293	—	—	2,724

(前年) 203 254 341 178 149 202 293 206 160 133 197 262 2,578

2 市内7小学校、全8中学校・4高等学校への学校訪問を実施し情報交換を実施

補導委員からは日頃の補導活動を通して気が付いた子ども達の様子等を、学校からは学校内での子ども達の様子等を伝え合い、相互の情報交換を実施した。

3 学校職員・PTAとの合同街頭補導を実施 (10月)

4 巡回中の注意点・問題事項及び特異事項等の把握

件数 (4月～1月) 4件

- ・中込駅前の歩道上に多数の自転車が駐輪されている迷惑行為の発見。
- ・東田公園における手洗い場施設の器物損壊事案の発見。
- ・中込グリーンモールにおける高校生による不適切な行為の連絡受理と警察との連携による補導。
- ・王城公園におけるベンチ器物損壊事案の発見。

環境浄化活動

- 1 アダルトビデオや有害図書類等の自動販売機を設置させない取組みを実施
 - (1) 補導委員協議会の総会にて有害自動販売機を設置させない（土地を提供しない）よう協力を依頼した。（5月）
 - (2) 「有害自動販売機 NO（ノー）運動」の協力依頼を広報に掲載する。（3月）
- 2 有害環境チェック活動の実施（通年実施） 実施件数：223件（4月～1月）

市内の店舗を訪問し、県指定のチェック項目を基に実施。青少年の健全育成にとって有害と思われる出版物・ビデオ・玩具等の有無、それらがある場合には青少年への配慮に努めているか、また未成年者の飲酒・喫煙が出来ないように努めているか等のチェックを実施した。

「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」
「有害環境浄化活動強化月間（7・11・2月）」には特に重点的に実施する。

特に、青少年に刺激の強い図書類等を取扱う市内の店舗に、青少年健全育成協力店の依頼を行う。
- 3 公共施設の器物損壊等の対処
街頭補導で器物損壊等を発見した際は、施設の管理者へ連絡し、対応を依頼した。

啓発活動

- 1 公民館報・佐久市ホームページに「少年センターだより」を掲載（年4回）

青少年健全育成活動を中心に、実施事業の開催報告や育成事業について掲載した。
- 2 青少年健全育成のぼり旗の設置と街頭啓発活動の実施
 - (1) 7・11月の強調月間に市役所玄関前にのぼり旗を設置した。
 - (2) 強調月間にあわせて、市内の駅で啓発用ポケットティッシュ（子ども・若者向け相談窓口の紹介等）及びリーフレットを配布した。
- 3 「信州あいさつ運動」の実施
強調月間にあわせて、「信州あいさつ運動」を周知する啓発用ポケットティッシュを、駅で配布した。
- 4 長野県警察 薬物乱用防止啓発用パネルの展示による薬物の恐さの啓発
11月24日（日）に開催した佐久市青少年健全育成市民集会で、長野県警察による薬物乱用防止啓発パネルの展示コーナーを設置した。

活動経過報告

実施日	曜日	事業内容	実施場所
4月25日	木	研修会、第1回 理事会	市役所南棟
5月29日	水	令和6年度佐久市少年センター補導委員協議会 総会	市民創練センター
5月21日	火	県補導センター・同補導委員会両協議会合同理事会（会長出席）	小諸市
5月23日	木	佐久防犯協会連合会定期総会及び理事会（会長出席）	佐久平交流センター
5月30日	木	東信地区薬物乱用対策推進協議会総会（会長出席）	上田合庁
6月18日	火	第2回 理事会	市役所南棟
6月		県補導センター・同補導委員会両協議会合同理事会	書面開催
7月11日	木	第49回長野県青少年補導活動推進大会	小諸市
7月6日	土	中込七夕まつり特別巡回（夜間補導）	中込地区
7月20日	土	岩村田祇園祭特別巡回（夜間補導）	岩村田地区
7月27日	土	野沢祇園祭特別巡回（夜間補導）	野沢地区
8月3日	土	臼田よいよやさ特別巡回（夜間補導）	臼田地区
8月14日	水	浅科どんどん祭り特別巡回（夜間補導）	浅科地区
8月15日	木	望月榊祭り特別巡回（夜間補導）	望月地区
8月23日	金	第50回青少年補導センター東信4市連絡会会議（会長・副会長）	小諸市
9月10日	火	県補導委員会会長・事務局担当者合同会議（会長出席）	須坂市
9月8日	日	佐久市子どもまつり	市民創練センター
9月20日	金	第3回 理事会	市役所南棟
10月12日	土	環境浄化活動（清掃・ゴミ拾い等）	千曲川河川敷
10月19日	木	青少年補導委員会会長・青少年補導センター所長等合同研修（会長）（オンライン）	須坂市
11月24日	日	佐久市青少年健全育成市民集会	佐久平交流センター
12月17日	火	視察研修	長野県警察学校、長野県警察本部
1月24日	金	第4回 理事会	市役所本庁
2月20日	木	県補導委員会・同補導センター両協議会合同理事会（会長出席）（オンライン）	須坂市
3月12日	水	第5回 理事会	市役所南棟

令和6年度 2月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	17回
2	延べ従事補導委員数	72人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	265人



2月の活動日誌から

2月3日(月)

8班(N・H) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 鼻顔公園 → 東児童館 → 大型スーパー
→ 平根児童館

活動の様子

今にも雪が落ちてきそうな肌寒い曇り空の下、今日は街頭に子どもはいないだろうと思いつつ補導活動に出発しました。大型ゲームセンターは、相変わらず成人が多く、いつもは見かける親子連れは見当たりませんでした。大型スーパーのフードコートのをぞくと、児童・生徒はおらず、年配者が2人、お話をされていました。今回訪れた児童館は、両館とも賑やかな声が響いていました。一つの館では、一輪車を器用に乗りこなす児童に感心しました。また、仲良く積み木遊びをする児童に声をかけると、はにかみながら明るくあいさつしてくれました。他の館では、元気にドッジボールをしていました。また、漢字練習をしていた2年生の女子児童は、「家に帰ってやるより、ここでやって帰った方がいい」と、はきはき答えてくれました。両館とも、30人ほどの利用があり、1、2年生に比べると、高学年の利用者は少ないとのことでした。

2月4日(火)

11班(K・I) 記

巡回経路 生涯学習センター → 大型ディスカウントストア → 大型スーパー

活動の様子

生涯学習センター1階のつどいの広場では、楽しそうにトランプをする中学3年生のグループと一生懸命に勉強をする1年生のグループがいました。2階の学習室では、大学受験生10数人が真剣に勉強していました。大学卒業後は地元に戻ってきてほしいと期待します。大型ディスカウントストアを訪問しました。たくさんの商品が並べられ、『迷路』のような状況です。火災や地震等が発生したら・・・と思うととても心配です。大型スーパー2階のフードコートでは、2人の中学生が勉強していました。また、その近くで中学生の男女が寄り添う姿に、異性の距離感を考えさせられました。

2月5日(水)

14班(S・T) 記

巡回経路 中込駅 → 学習塾 → 中込会館 → サングリモ図書館 → 城山公園
→ 原公園 → 生涯学習センター → 橋場公園 → 水上公園

活動の様子

今冬、『最強・最長級』の寒気が居座る中、真冬日を思わせるような寒い一日であった。「このように寒い日には、外で遊んでいる子どもはいないだろう」と話しながら巡回を開始したが、城山公園・原公園では、子どもたちが元気よく遊んでいた。原公園で遊んでいる小学3年生に声かけをすると元気な声が返ってきた。生涯学習センターでは、数十人の小、中、高校生が勉強したり、遊んだりしていた。受験シーズンであり、2階の学習室でも多くの高校生が勉強していた。ここは、本当に環境がよく、子どもたちに人気があるようで、席に座れず外で待っている子どももいた。(スペース的には、もう少し椅子やテーブルを増やせるのではないかと思った)このような施設は、本当に大切だと感じた。

2月6日(木)

15班(T・R) 記

巡回経路 中込駅 → 成知公園 → さくまんが舎 → 砂田公園
→ 市民交流ひろば → 大型スーパー → 近津南公園
→ 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園



活動の様子

外気温2度、風が肌をさすごとく冷たい時間帯、浅間地区方面の補導をさせてもらった。多くの公園に子どもの姿はなかったが、ねむのき公園に6年生の児童2名が遊びにきていた。寒い中なので風邪などひかないように早めの帰宅を促した。暖かな大型スーパー内ゲームコーナーには、親子連れや男女の若者たちがゲームなどをしていた。係員に聞くと、単独で来ている小、中学生には規定の時刻には帰宅するよう声かけをしているとのことだった。「さくまんが舎」を初めて訪問した。入館無料で土日になると小、中学生も来館するという。様々な受け皿の中で子どもたちの健全な成長を望みたい。

2月7日(金) 啓発活動(大型スーパー出入口周辺)

3班(O・T) 記

概要

今年は、暖冬と言われてきましたが、当日に限って冷たい風が吹き荒れる中、大型スーパーの出入口で「信州あいさつ運動」の啓発活動として、ポケットティッシュを配りました。寒さのせい、人もまばらでしたが、積極的な声かけで多くの皆さんにポケットティッシュを受け取っていただき、すべて配ることができました。(ご一緒してくださった皆様、その後、お風邪を召されませんでしたでしょうか)その後、大型スーパー内のゲームコーナーを巡回しました。卒業シーズンに近いこともあり、プリントシール機では、おしゃれをした女子高校生が多くいました。お友達との思い出を大切に、次の一歩へ羽ばたいてほしいとほほえましく感じました。

2月10日(月)

12班 専門補導委員 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 原公園 → 城山公園
→ ビデオレンタル店 → 泉団地内公園

活動の様子

最強ともいわれる寒波の襲来に、街頭に出るにはいささか決意が必要である。それでも今日は、日差しに暖かさを感じる。生涯学習センターの駐輪場には30台以上の自転車が駐輪されており、大勢の来館が予想できた。つどいの広場に

は、小、中、高校生に少数の大人を含め、30人以上の利用があった。当日は、一部小学校は計画休業、中学校は公立高等学校の前期選抜とのことであった。また、受験を控えた高校生は、物音も立てず、学習室で真剣に学習していた。東田公園、原公園は閑散としていた。城山公園に足を伸ばし、キャッチボールをする2名の6年生、縄跳びをする5年生の女子児童と笑顔で会話することができた。ビデオレンタル店の来客はまばらであった。店員さんの話では、午前中には多くの小学生が来店し、特にトレーディングカードが人気であるという。また、一人で来店した中学生が、高価な中古スマートフォンを購入したケースがあったと伺ったが、店の形態が大きく変わってきていると感じた。泉団地内公園では、小学生8人が「だるまさんが転んだ」をして、元気に遊んでいた。声かけをためらわせるほど真剣で楽しそうな姿をしばらく見守った。

2月12日(水)

18班(M・Y) 記

巡回経路 浅科支所 → 大型スーパー → 市民交流ひろば → 近津南公園
→ 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園 → 浅科支所

活動の様子

厳しい寒さも和らぎ、最高気温も10℃となった。現地に向かう途中、横断歩道手前で停止すると、横断歩道を渡り終えた浅科中学校の生徒が深々と頭を下げて感謝の気持ちを表してくれた。この姿を見て、これからも子どもたちの安全を守らなければという気持ちが一層強くなった。大型スーパーの2階にあるフードコートには高校1年生の女子4名が勉強していた。ゲームコーナーでは、家族連れで遊ぶ姿が見られた。ねむのき公園では、女子中学生3名が楽しそうに話していた。演劇部の仲間とのことだった。

2月13日(木)

19班(H・T) 記

巡回経路 望月図書館 → 望月宿公園 → 佐久良公園
→ 並木団地公園 → 小平グランド → 望月児童館

活動の様子

望月図書館で利用受付をしていた中学生に声をかけると受験勉強のための利用とのことでした。他にも5~6人の中学生が静かに学習していました。続いて各公園を巡回しましたが、寒い日であったためか子どもたちの姿はありませんでした。佐久良公園にいた方に何うと「バイクに乗った子どもたちが集まることのある」とのことでした。そのような場合は、時季や時間を合わせて巡回することも必要かもしれないと思いました。望月児童館では、50人ほどの子どもが思い思いに過ごしていました。話しかけると、とても楽しそうに答えてくれ、こちらの気持ちも明るくなりました。



(写真は、望月児童館職員手作りの『梅とウグイス』の折り紙)

2月14日(金)

5・6班(T・R) 記

巡回経路 大型スーパー → やまぼうし公園 → ねむのき公園 → 近津南公園
→ 市民交流ひろば → 砂田公園 → 大型スーパー

活動の様子

風のない日向は、ほっとする暖かさ。補導巡回の足も前に進みます。浅間地

区には大小さまざまな公園・広場があり、今日はいくつかを巡りました。市民交流ひろばでは、移住されてきたという親子連れに行き会いました。移住先として人気1、2位に名前を連ねる佐久市。実際に移住されてきた方々とお会いするのは初めてで、今更ながら佐久市の魅力を伺い、一市民として嬉しく思いました。砂田公園内の築山で、高校生数名がお弁当を広げて談笑していました。皆、しっかりあいさつしてくれました。本人たちのものか、高級仕様(?)の自転車には補導委員一同、目を見はりました。いつもは賑やかなのに今日は誰もいない公園もあり、こういう日もあるのかと思いつつ、巡回を終えました

2月17日(月)

7班(I・H) 記

巡回経路 浅間会館 → 岩村田小学校 → 中央図書館 → 鼻顔公園
→ 大型スーパー → 東会館 → 旧志賀小学校

活動の様子

冬型の気圧配置に戻り、吹く風も冷たい。下校時刻で、岩村田小学校を出てきた児童は、襟巻や手袋で体を寒さから守りながら帰宅を急いでいた。校門を出て、児童館に向かう生徒は、歩行の安全を確保するために、グリーンベルトのある歩道を通らず、あえて南側の通路を左側通行していた。中央図書館は休館日で、駒場公園、鼻顔公園、大型スーパーのフードコートでも児童・生徒を見かけなかった。東会館には、学習室兼小会議室が用意されている。明るく清潔感のある学習室を、多くの子どもたちが有効に活用してほしいと感じた。以前、旧志賀小学校のグラウンドを訪れたおり、野球をする子どもたちを見かけたが、この日は寒さが厳しいこともあり、寒風に木々が揺れるばかりであった。

2月18日(火)

9班(U・Y) 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町諏訪神社 → 東田公園
→ 高柳公園 → 中嶋公園 → 城山公園 → 跡部神社 → 原公園

活動の様子

2月の寒い中での街頭補導となったため、屋外で過ごす子どもの姿は少なかった。高柳公園で出会った小学生が公園で宿題をしていて、立派だなと思った。生涯学習センターでは、『つどいの広場』『学習室』ともほぼ満席で児童・生徒が勉強をしており感心した。

2月19日(水)

1班(K・M) 記

巡回経路 大型スーパー → 若宮公園 → 岩村田児童館
→ 枇杷坂公園 → 大型スーパー

活動の様子

本日は、水曜日で小1～6年まで一斉下校でした。若宮公園では、数人の小学生が仲よく遊んでいました。岩村田児童館では、本日は少数ということでしたが、普段は100人ほどの子どもたちで賑わっています。外で遊ぶ子、屋内で遊ぶ子と歓声が沸き上がっていました。道中の公園でも寒い日でしたが、遊んでいる数人の姿が見えました。大型スーパーのフードコートでは、高校生が必死に勉強していました。数名に声かけしたところ、「今日、明日とテスト」ということでした。ゲームコーナーでは、親子連れが目立ちました。卒業や入学シーズンですが、無事に過ごしてほしいです。



2月20日(木)

16班 専門補導委員 記

巡回経路 あいとぴあ → 白田駅 → 下越公園 → 稲荷山公園
→ 白田小学校通学路 → 切原児童館 → 下の宮公園

活動の様子

日差しのない寒い一日で、街頭の人影もまばらである。白田駅から下越公園に足を伸ばすが、子どもの姿はなかった。稲荷山公園でも数名の大人が散歩をしていたが、子どもたちの歓声はない。白田小学校付近にさしかかると、ちょうど下校の時刻で、多くの児童が帰路についていた。白田インター付近の道路は道幅が広く、歩道も設置されている。この辺りを通行する車はスピードを出しがちで、交通事故も懸念されるが、子どもたちは、信号に従って安全に下校していた。切原児童館には、1、3年生の児童8名が来館していた。宿題の書き取りをしたり、トレーシングペーパーを使って絵本のイラストを写したりと、どの子も穏やかな表情で過ごしていた。下の宮公園では、さすがにこの寒さの中で、いつものように野球をする子は確認できなかった。近くを通りかかった2人の小学生は、側溝の氷に乗って、氷の厚さを調べていた。声かけをして、特に危険性のないことを確かめたが、小学生の子らにとって、登下校時の友とのふれあいや、何気ない自然とのかかわりは、彼らの知性を大きく発達させるに違いないと改めて感じた。

2月21日(金)

13班 (I・K) 記

巡回経路 横町公園 → 平賀新町公園 → アベニュー団地内公園 (3か所)
→ 旧平賀保育園跡地 → 佐久城山小学校 → 中込中学校 → 佐太夫町公園

活動の様子

天気も良く、15時30分になっても、まだ、明るい中での巡回でした。アベニュー団地内の3公園には誰もいませんでした。佐久城山児童館では、120名ほどの児童がいました。外で大勢の女子が楽しそうに縄跳びをしていました。学校でもやっているようです。児童館の裏に新たに庭ができ、その庭で数人の男子が元気いっぱいサッカーをやっていました。“子どもは風の子”です。中込中学校のテニスコートでは、寒い中、10数名が元気よくテニスをやっていました

2月25日(火)

2班 (U・R) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → 浅間会館 → 学童保育 → 学習施設

活動の様子

寒波が過ぎ去った後のとても穏やかで温かい日でした。大型ゲームセンターでは、高校生が「テスト期間中の息抜き」と称して遊んでいました。浅間会館の『図書室兼学習室』では、大人1人と高校生1人が学習していました。閉館となる年末年始以外は無料で利用できるようですが、近隣の住民への周知が必要と感じました。その後、学童保育と学習施設を見学し、各家庭のニーズに合わせて様々な形態が必要になっていると実感しました。

2月26日(水)

4班 (T・A) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 近津南公園
→ ねむのき公園 → 枇杷坂公園

活動の様子

大型スーパーのフードコートでは、定期テストに向けて学習する高校生が見受けられました。一方で、ゲームコーナーの高校生に声をかけると、テストが終わったとのことでした。昨日まで、日本の広い地域が寒波に覆われて大変寒かったですが、今日は、気温が上がって、各所の公園では小学生がボール遊びをしていました。専門補導委員さんは、子どもたちに話しかけるのが上手です。話している内容を聞くと、以前に会った時の話もしていることが分かりました。このつながりが街頭補導活動ではとても大切であると思います。私は、月に1回の補導活動であり、同じ場所を巡回するとは限りません。そのような点で、専門補導委員さんのように話しかけることができませんでした。しかし、自分の住んでいる地域の子どもの登下校中や休日に巡回して、できるだけ声をかけをしたいと思いました。今日は、話しかけたり、話を聞いたりすることが街頭補導活動では大切なことであることを学びました。

2月27日(木)

17班(I・K) 記

巡回経路 下の宮公園 → 五稜郭公園 → 田口児童館 → 蕃松院 → 御幸神社

活動の様子

連日厳しい寒さが続く中、本日に限っては非常に穏やかな一日でした。下の宮公園では、小、中学生の姿はなく、大人の男性1人がサッカーをしていました。五稜郭公園では、大人5、6人と子ども6、7人が元気に遊んでいました。ここの駐車場は、スクールバスが止まるので、とても賑やかな時間帯もあるとのことでした。ここは、非常に手入れが行き届いており、素晴らしい環境なので、さらに多くの方に利用していただきたいと思います。田口児童館では、外で男子4人が、室内で男子1人と女子6人が明るく元気に遊んでいました。その中で、誰かが「〇〇をやろう！」と声をかけると、全員が協力して楽しむという雰囲気があり、好感が持てました。蕃松院に人の姿はありませんでしたが、境内はとてもきれいでした。御幸神社では5年生の男子2人が遊んでおり、気をつけて帰宅するよう伝えました。

2月28日(金)

10班(S・T) 記

巡回経路 生涯学習センター → 東田公園 → 鍛冶屋公園 → 高柳公園
→ 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

活動の様子

季節外れの暖かさの中での巡回でした。そのせいか、公園で遊んでいる人はこの季節にしては多かったと思います。公園では、サッカーや鬼ごっこをしている小学生、幼児を連れた親御さんなどがいました。声をかけると、ていねいに答えてくれました。城山公園に来ていた女兒4人は、レジャーシートを持っており「ピクニックに来た」と楽しそうに答えてくれました。みんな仲良く遊んでいる姿が印象的でした。公園は、ゴミが散らかっている様子はなく、マナーが守られていると思いました。



◀ 2月の活動を終わって。 専門補導委員 Y・K ▶

佐久にゆかりがあり、全国や世界を舞台に活躍した先人を紹介した冊子「佐久の先人」に野沢出身の小池勇助軍医が紹介されています。

小池は、満州や沖縄に出征。沖縄で隊長を務めていた第二野戦病院に積徳高等女学校の生徒 25 名からなる「ふじ学徒隊」が配属された。学徒隊は、不眠不休で傷病兵の食事の世話、排せつ物の処理、包帯の交換などの看護や手術の手伝いに従事していた。そして、戦況が悪化し砲撃を受ける中を移動し、現在の糸満市「糸洲の壕」と呼ばれる自然洞窟にたどり着いた。日本軍がほぼ壊滅、戦闘が沈静化するのを待ち、小池はふじ学徒隊の解散命令を下した。小池は、ふじ学徒隊を解散する際「必ず生き残って家族のもとに帰りなさい。絶対に死んではならない」と諭し、そして「悲惨な戦争の最期を銃後の国民に語り伝えてくれ」と呼びかけ、学徒隊を壕から脱出させた後、軍医は自決。54 歳だった。 (参考文献 佐久の先人)

* 佐久市では「戦争の悲惨さ、命の大切さ」をより深く学ぶ平和学習の場とするため、糸洲の壕の学習環境整備事業を行いました。

私ごとですが、もう半世紀以上も前の 18 歳の時に知り合った沖縄県出身の友がいます。戦後、沖縄は米国の支配下となり、1972 年（昭和 47 年）施政権が日本に返還されました。それまでは、車は右側通行、本土往来には、パスポートが必要でした。返還翌年の春、アルバイト学生の私は、パスポートなしで本土に来て都内の菓子店に就職した彼と出会いました。同い年の私たちは、意気投合し親しくなりました。ところが、出会いから約半年後、彼は「もう一度、自分が進むべき道を見つけない」と原点回帰することとし、晴海ふ頭から船に乗って沖縄へ帰郷しました。

彼は、高校時代、陸上の選手でしたが、虫垂炎の手術をし、県大会直前は病院のベッドの上だったようです。しかし、医師の指示を拒んで退院、大会に出場したようです。（結果は皆さんの想像のとおり）そんな彼が尊敬していた人物は、東京・メキシコ・ミュンヘンの五輪に 3 回連続出場した『君原健二選手』です。彼は、君原選手の

“私は苦しくなると休みたくなるんです。しかし、そんな時、「あの街角まで」「あの電柱まで」「あと 10m だけ走ろう」と言い聞かせて走ります”

という言葉が好きだったことを今でも覚えています。君原選手は、第一線から退いた後も市民ランナーとして走り、これまでの 74 回のフルマラソンで 1 回も棄権することなくすべて完走しているようです。君原選手の名言の中の 1 つを紹介します。

“人生はよくマラソンに例えられますが、私は、むしろ人生は駅伝であると思います。前を走っていた者からタスキを受け継ぎ、後ろに走る者にタスキをつなぐ。途中で走ることをやめるわけにはいかないのが人生。”

社会・地域の宝であり将来の日本を背負う青少年がたくましく成長することは、私たちの願いであり、責任でもあります。先人・先輩から受け継いだ青少年健全育成活動というタスキを次代にしっかりとつなげることは、私たちの責務ではないでしょうか。

* 追記 彼は、その後、調理師になり、沖縄のホテル総料理長、琉球料理传承人、県調理師会の要職につきました。今月下旬、彼は家族と我が家に泊りがけで来ます。彼と昔話をしながら一献傾けるのを楽しみにしている昨今です。